

CONTENTS

CHAPTER 1 電源を入れる前の準備 4

- 1 ●各部の機能と名称 5
 - 前面・上面／5
 - 左面／6
 - 背面／8
 - AC アダプタ／9

CHAPTER 2 基本操作 10

- 1 ●起動と終了 11
 - 電源を入れる／11
 - スリープにする／12
 - フリーズしてしまった場合には／13
- 2 ●キーボード 14
 - ソフトウェアキーボードの表示方法／14
 - ソフトウェアキーボードの使用方法／15
- 3 ●タッチパネル 16
 - 操作方法／16

CHAPTER 3 各デバイスについて 18

- 1 ●各デバイスの説明 19
 - 無線 LAN／19
 - 音量の調整／22
 - 録音する／23
 - カメラ／26
 - イヤホンマイク端子／26
 - mini HDMI／27
 - micro USB／27
 - カードリーダー／27
- 2 ●外部出力について 28
 - 外部出力の手順／28

CHAPTER 4 BIOS 設定 30

- 1 ● BIOS 設 定 に つ い て 31
 - BIOS 設定画面の起動 / 31
 - BIOS 実行キー / 31
 - BIOS 設定の変更 / 32

CHAPTER 5 ご使用に関して 36

- 1 ● バッテリーの使用方法..... 37
 - 概要 / 37
- 2 ● クリーニング..... 38
 - 準備するもの / 38
 - 本製品の掃除 / 38
- 3 ● トラブルシューティング..... 40
 - 回復ツールを使ったトラブルシューティング / 40
- 4 ● システムの復元を利用する..... 42
 - システムの復元を実行する / 42
- 5 ● PC をリフレッシュする..... 46
 - 「PC リフレッシュ」を実行する / 46
- 6 ● すべてを削除して Windows を再インストールする..... 50
 - 「すべてを削除して Windows を再インストールする」を実行する / 50
 - 初回設定の手順（Microsoft アカウントをお持ちの場合） / 54
 - 初回設定の手順（Microsoft アカウントをお持ちでない場合） / 59
 - 初回設定の手順（Microsoft アカウントを使用しない場合） / 62

ご使用になる前に必ずお読みください

■ 動作使用環境について

- ・本製品の使用環境は、温度 10℃～35℃、湿度 8%～80% を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。
- ・本製品の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。
- ・本製品は、日本国内でのみご使用ください。

■ ストレージについて

- ・ストレージ内の重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。
- ・ストレージに保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であっても弊社は保証いたしません。

■ 著作権・商標について

- ・著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本製品を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。
- ・著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- ・権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することは、著作権法上禁止されております。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記しておりません。

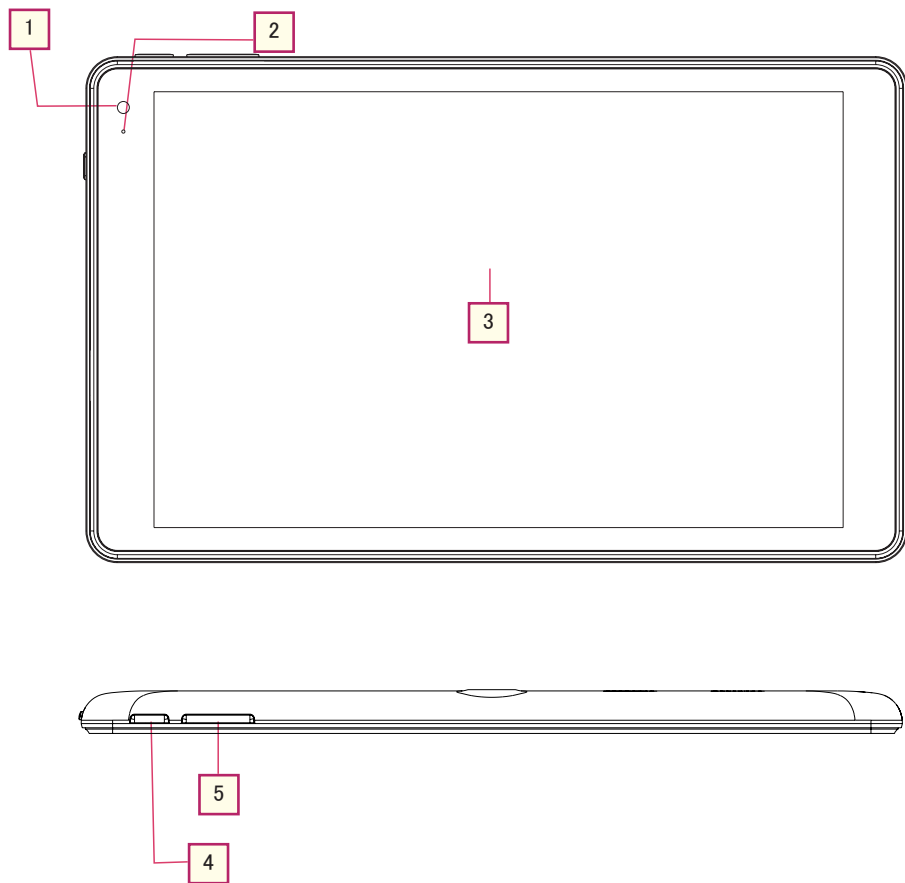
電源を入れる 前の準備

1 ● 各部の名称と機能	5
--------------------	---

各部の名称と機能

本製品各部の説明をしています。

前面・上面



※注意※

重いものを本製品の上に乗せないでください。液晶パネルを破損させるおそれがあります。

1 フロントカメラ
静止画、ビデオを撮影するための Web カメラです。

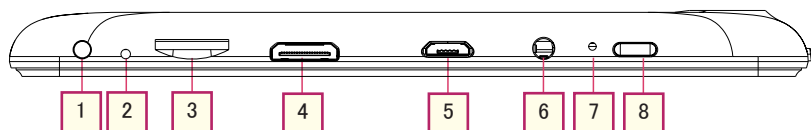
2 カメラ LED
フロントカメラ起動時に点灯します。

3 タッチパネル
画面の操作を行います。

4 Windows ボタン
Windows スタート画面が開きます。

5 ボリュームボタン
音量調整するボタンです。

左面



1 DC-In 端子
付属の AC アダプターを接続して、充電を行います。

2 内蔵マイクロホン
音声録音する本体内蔵マイクロホンです。

3 カードリーダー
microSD カード・microSDHC カード・microSDXC カードに対応しています。

注意

市販されているすべてのカード、容量に対して動作を保証するものではありません。

4 mini HDMI 出力端子
HDMI 規格に対応した外部ディスプレイを接続することが可能です。

注意

通常サイズの HDMI コネクタ搭載機器を接続する際は、別途変換ケーブルをご使用ください。

- 5 micro USB 2.0 端子
USB デバイスを接続します。



注意

通常サイズの USB コネクタ搭載機器を接続する際は、別途変換ケーブルをご使用ください。

- 6 ヘッドホン端子
ステレオヘッドホン・マイク機能を備えた4極タイプのヘッドホン接続が可能です。
CTIA 規格に対応したヘッドホンを使用してください。

- 7 電源 LED

※電源 LED インジケータの動作について

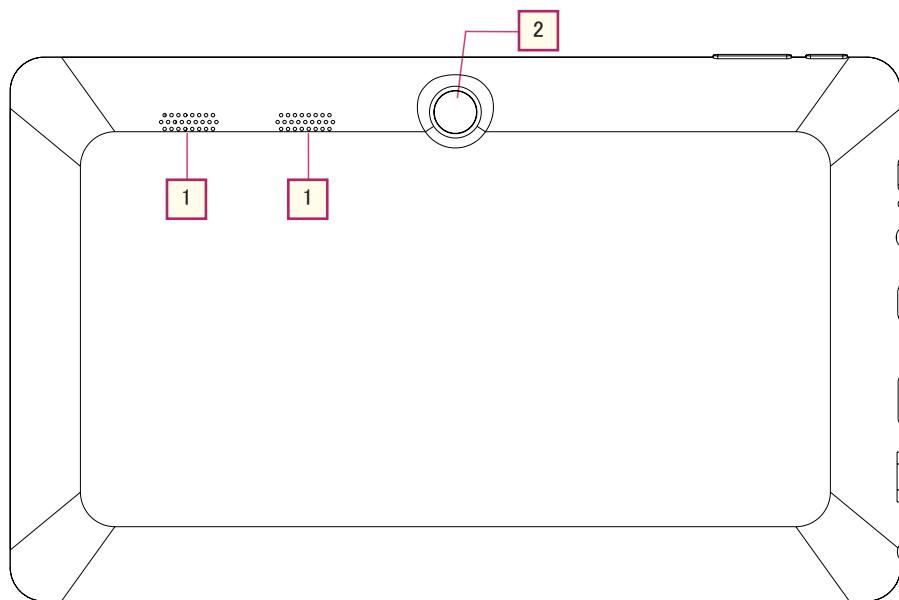
状態	点灯色と挙動
AC アダプター接続時	青色で点灯。

※注意※

本製品は本体内部のバッテリー残量10%以下になった際、充電ケーブルを接続した場合でもバッテリー残量が10%を超えるまで電源が入らない場合があります。ご使用の際は予めバッテリーを十分に充電を行ったうえでご使用ください。

- 8 電源 / スリープボタン
1 秒以上長押しすると本製品が起動します。
また、再度ボタンを押すとスリープモードになります。

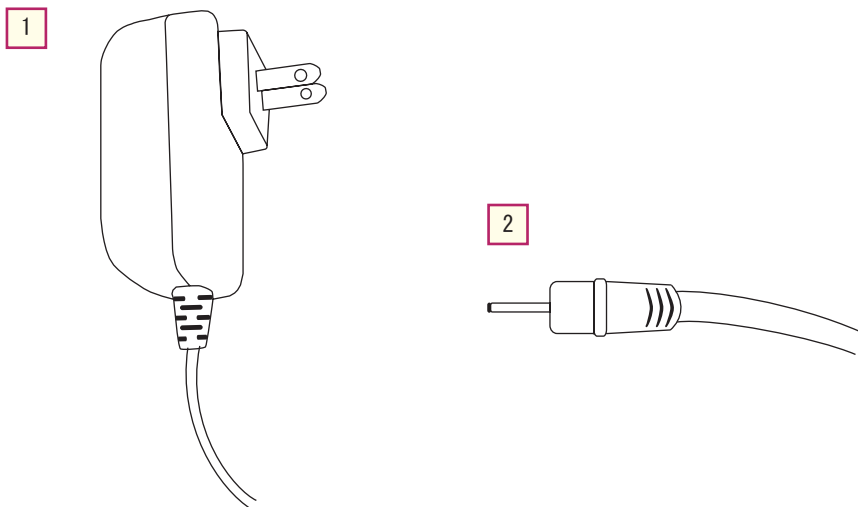
背面



- 1** スピーカー
サウンドを出力するスピーカーです。

- 2** リアカメラ
静止画、ビデオを撮影するためのカメラです。

AC アダプタ



- 1 AC アダプタ
AC 電圧から一定の DC 電圧に変換します。



注意

本製品付属のACアダプターを使用してください。

- 2 DC プラグ
この端子を本製品側に接続します。



注意

動作中は高温になります。燃えやすいものや溶けやすいものなどの上に置かないでください。



注意

トラブルや予期せぬ事故を防ぐために、OA タップを使わずに壁付けのコンセントから直接電源をとるようにしてください。

基本操作

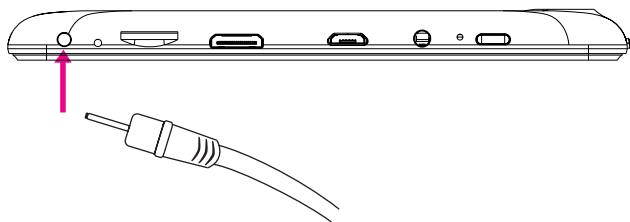
1 ● 起動と終了	11
2 ● キーボード	14
3 ● タッチパネル	16

起動と終了

電源の入れ方、および電源の切り方を説明しています。

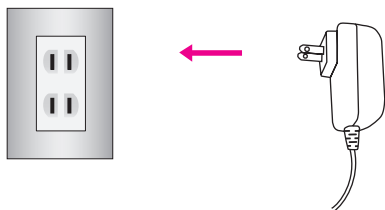
電源を入れる

- 1.AC アダプタを本体の DC-In 端子に接続します。

**注意**

購入直後は 1 時間以上充電を行った後、起動してください。

- 2.AC アダプタの AC プラグをコンセントに差し込みます。

**注意**

壁のコンセントから直接電源を取るようにしてください。

3. 本製品左部の電源ボタンを 1 秒以上、長押しすると起動します。

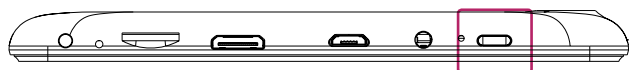


ワンポイント

起動しない場合は30分以上充電を行ってください。

スリープにする

1. 電源ボタンを押すと、画面が暗転してスリープモードへ入ります。

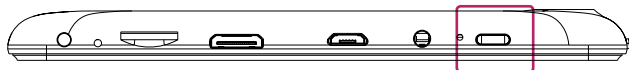


「電源ボタン」を軽く押します。画面が暗転してスリープモードに入ります。

注意

スリープモードにすると画面が暗転し、節電モードに入ります。スリープモード中にバッテリーが切れると、保存されていない情報は失われますので、ご注意ください。

2. スリープモードの解除



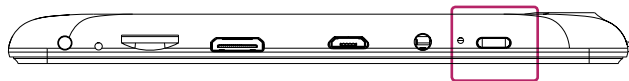
再度、「電源ボタン」を軽く押します。スリープモードから復帰します。

ワンポイント

スリープモードとは、電源を切らずにスタンバイ状態にするものです。電源を切った時と比べて、起動が格段に速くなります。

フリーズしてしまった場合には

1. 電源ボタンを使用する場合（強制終了）



「電源ボタン」を4秒以上長押し、電源を強制的に切ります。強制終了後に再起動する場合は1～2分ほどたってから電源を入れてください。

ワンポイント

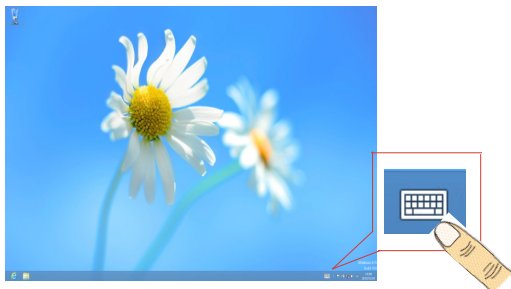
「フリーズ」とは、本製品の動作が停止し、各操作を受け付けなくなってしまった状態のことです。

キーボード

キーボードの各部名称と機能を説明しています。

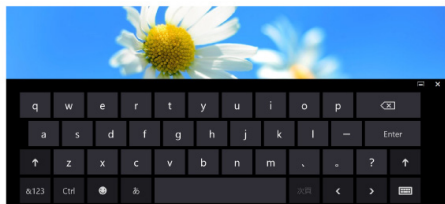
ソフトウェアキーボードの表示方法

1. ソフトウェアキーボードを呼び出します。



画面右側下部に表示されているキーボードのアイコンをタップし、ソフトウェアキーボードを表示します。

2. ソフトウェアキーボードが表示されます。



以後、メモ帳などのアプリケーションを起動し、入力を行ってください。

ソフトウェアキーボードの使用方法



- 1 バックスペースキー
現在のカーソル位置の 1 つ左の文字を消し、以降の文字列を左に詰めます。
- 2 Shift キー
「Shift キー」をタップしてからアルファベットをタップすると大文字になります。
- 3 数字キー / 記号
「数字」「記号」「一般記号」「括弧・罫線」「矢印」などの入力に切替えます。
- 4 あ A キー
「かな」「アルファベット」の入力を切替えます。
- 5 キーボード切替えキー
キーボード配列及び手書き入力など表示切替えます。

タッチパネル

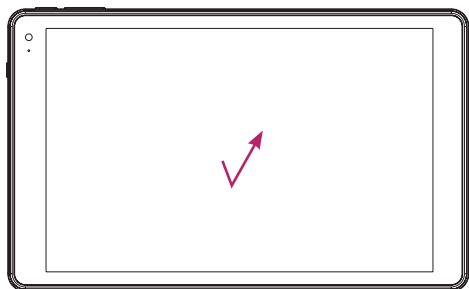
ここではタッチパネル上に表示されるアイテムの操作方法について説明します。

操作方法

本製品では指などで、タッチパネルに直接触れて操作します。

1. タップ（シングルクリックに相当）

アイコンやファイル・フォルダを選択するときに使用します。



軽く1回、画面を叩きます。

注意

本製品のタッチパネルは「静電容量方式」を使用しているため、指を直接あてて操作を行います。タッチペンなどをご使用される際は静電容量方式に対応した製品をご利用ください。

また、圧力で動作する製品ではございませんので、必要以上の力を込めないでください。故障の原因となります。

2. ダブルタップ（ダブルクリックに相当）

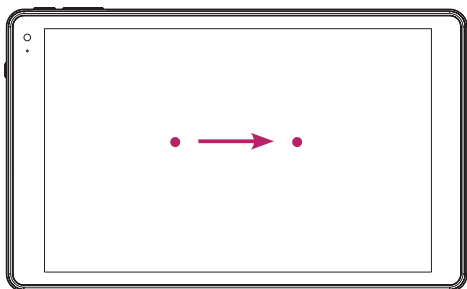
アプリケーションを実行したり、フォルダや設定項目の内容を表示するときに使用します。



同じ場所を素早く2回叩きます。

3. ドラッグ

アイコンなどを別の場所に移動したりするときに使用します。

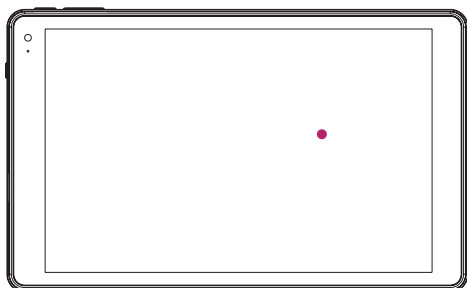


1 移動したいアイコンやファイルに指を当てます。

2 指を離さずに画面を滑らせ、止めたい場所で指を離します。

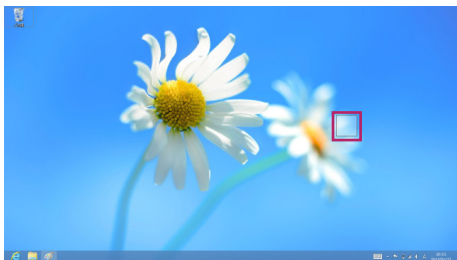
4. プレスアンドホールド（右クリックに相当）

右クリックメニューを表示するときに使用します。

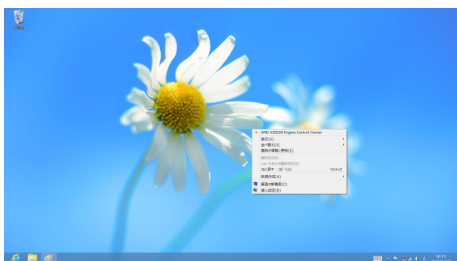


1 右クリックメニューを出したい項目の上に指を当て続けます。

2 指を当てている場所を中心に、□（四角）が描かれたら、指を離します。



3 指を離すと、右クリックメニューが表示されます。



各デバイスについて

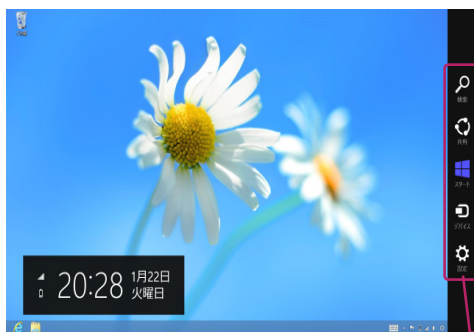
1 ●各デバイスの説明	19
2 ●外部出力について	28

各デバイスの説明

製品に搭載されている各種デバイスの説明をしています。

無線 LAN

1. 設定画面の表示



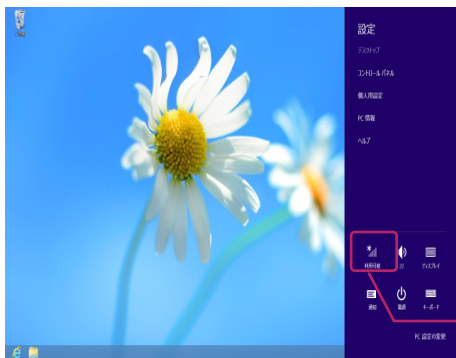
「チャーム」を表示し、「設定」をタップします。



注意

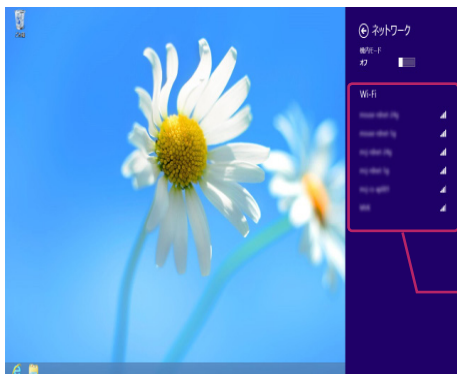
ご家庭で無線 LAN を使用するには、無線 LAN ルーターが必要になります。また、各種無線 LAN スポットで使用する場合は、それぞれの契約が必要になります。

2. ネットワークアイコンをタップします



「設定チャーム」の「ネットワーク」アイコンをタップします。

3. 接続先の表示。

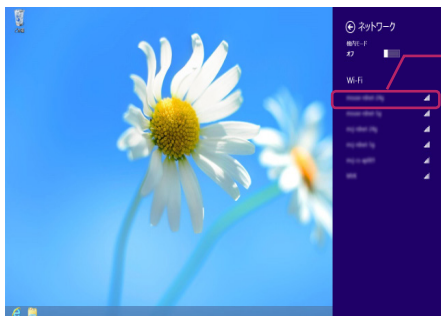


無線 LAN 接続先一覧が表示されます。

注意

一覧が表示されない場合、「PC 設定の変更」→「ワイヤレス」→「ワイヤレスデバイス」内の「Wi-Fi」を「オン」に設定してください。

4. 接続先選択。

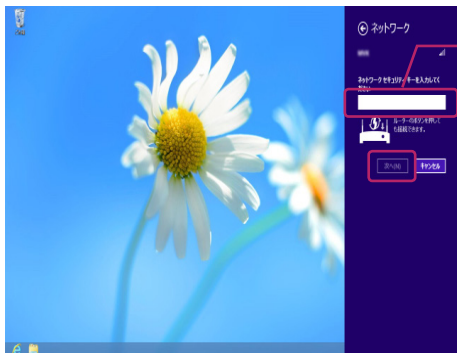


接続したい「アクセスポイント」をタップします。

ワンポイント

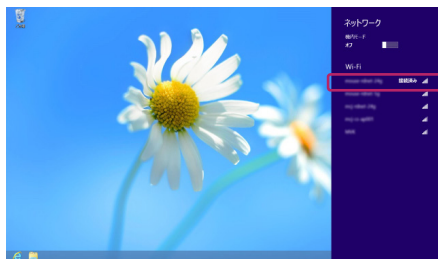
アクセスポイントに設定されたネットワークセキュリティキーを入力します。市販の無線 LAN ルータなどの場合には、ルータの取扱説明書をご確認ください。

5. セキュリティキーを入力します。

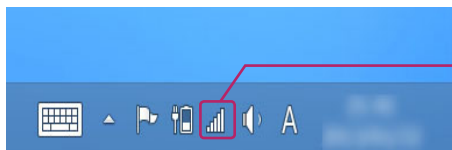


「ネットワークセキュリティキー」を入力後、「次へ」をタップします。

6. 接続完了です。



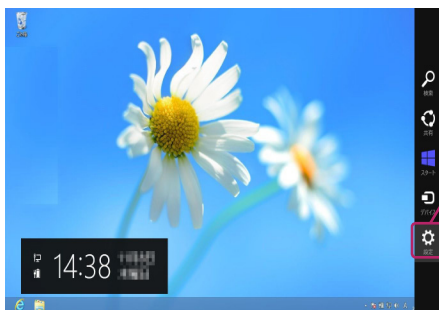
選択した「アクセスポイント」が「接続済み」と表示されます。



シグナルの強さが表示されて接続完了となります。

音量の調整

1. 音量調整を起動します。



「設定」をタップします。

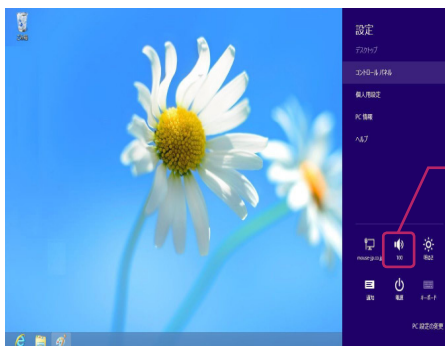
注意

スピーカーアイコンに禁止を示すマークがついている場合、ミュート（消音）に設定されています。



ワンポイント

音量調節は「チャームバー＞設定＞コントロールパネル＞ハードウェアとサウンド＞サウンド（システム音量の調節）」からも行うことが可能です。



「スピーカー」をタップします。

2. 音量を調整します。



音量を調節します。

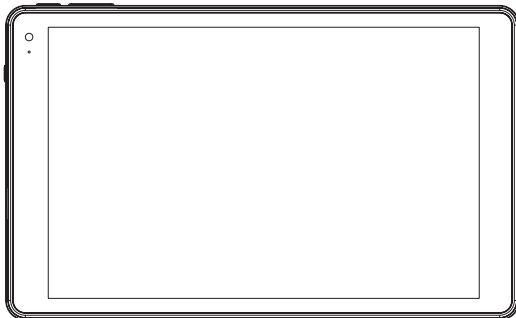
ワンポイント

ステレオヘッドホン端子に、スピーカーまたはヘッドホンを接続した場合、接続した機器への出力に切り替わります。

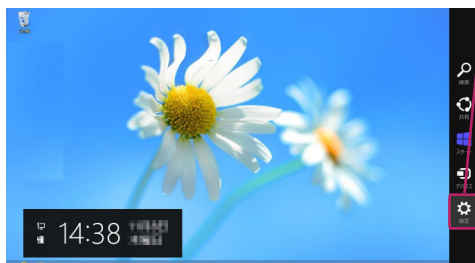
内蔵スピーカーと外部機器との同時出力には対応していません。

録音する

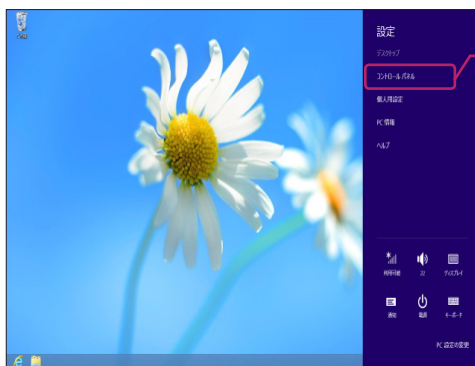
1. タブレットを正面にして使用します。



2. コントロールパネルを起動します

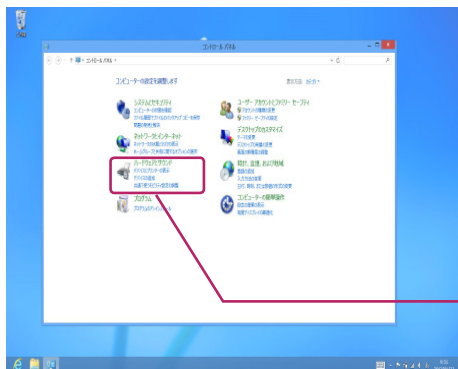


1 「チャームバー」を表示し「設定」をタップします。



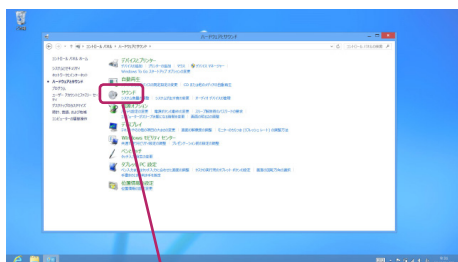
2 「コントロールパネル」をタップします。

3. 「ハードウェアとサウンド」をタップします。



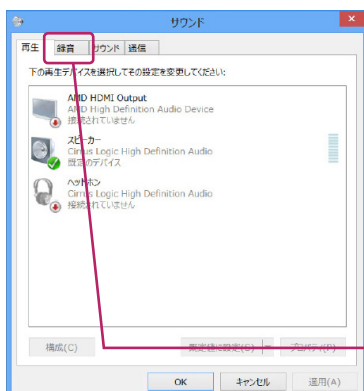
「ハードウェアとサウンド」をタップします。

4. 「サウンド」をタップします。



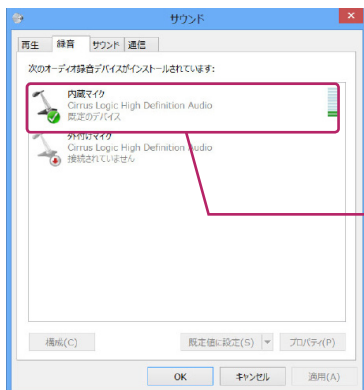
「サウンド」をタップします。

5. 「録音」をタップします。



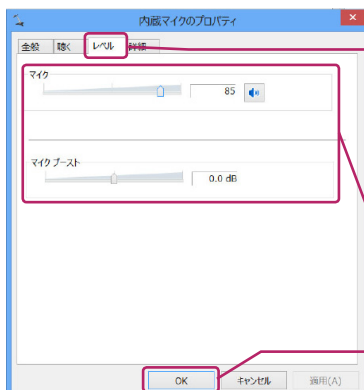
「録音」をタップします。

6. 「マイク」をダブルタップします。



「マイク」をダブルタップします。

7. 音量・マイクブーストを設定します。



1 「レベル」をタップします。

2 「音量」「マイクブースト」を設定します。

3 「OK」をタップします。

ワンポイント

マイクの録音ボリュームを最大にしても、入力音量が小さい場合、マイクブーストをかける事で改善します。

初期値 0dB から、10dB 単位で最大 30dB まで設定可能です。

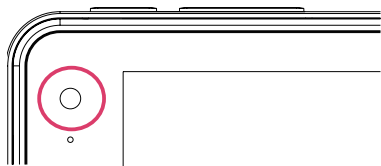
注意

ブースト値を上げすぎると、ハウリングやノイズの原因になります。

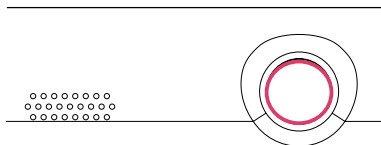
カメラ

各種メッセージャーにおいて、対話時に使用できます。

フロントカメラ



リアカメラ

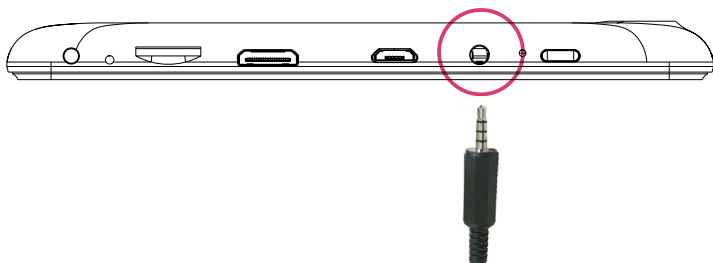


※注意※

初期状態では WEB カメラを起動できるアプリケーションを添付しておりません。ご使用いただくには、Windows に標準搭載されているカメラアプリをご使用ください。

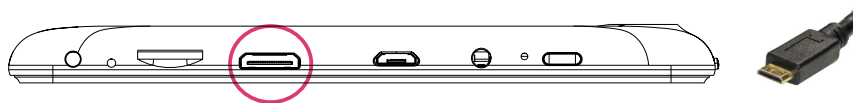
ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続して使用します。
(CTIA 規格の 4 極ヘッドホン端子に対応しています。)



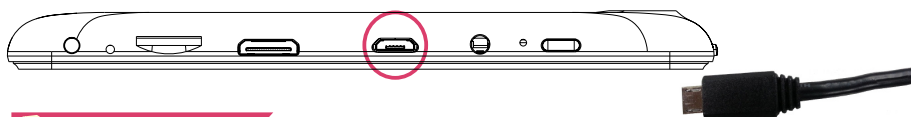
mini HDMI 端子

mini HDMI 端子には、HDMI 対応デバイスを接続できます。



micro USB

USB2.0 端子は最大 480Mbps の速度で様々なデバイスを接続します。プラグアンドプレイに対応しています。



注意

標準サイズの USB コネクタを使用する際には付属の microUSB(B) - USB 変換ケーブルをご使用ください。

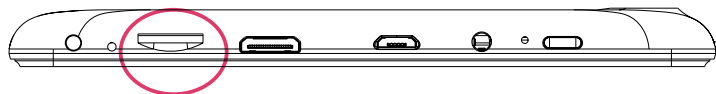
注意

接続する USB 機器によっては、別途 USB 機器に電源を接続する必要があります。

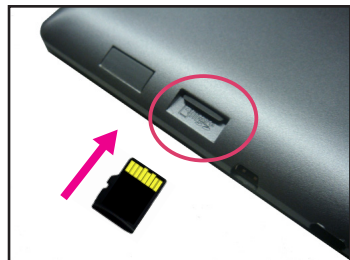
カードリーダー

本製品のカードリーダーは、MicroSD カード、MicroSDHC カード、MicroSDXC カードが使用可能です。

※すべてのメディアにおいて動作保証するものではありません。



※正常に挿入された状態



ワンポイント

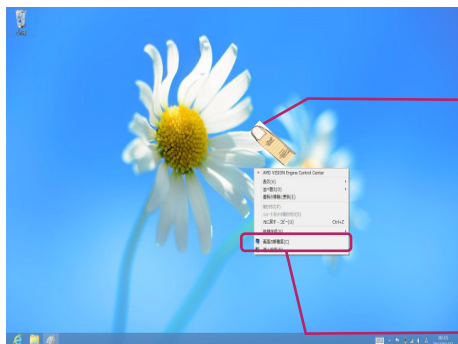
取り外しの際は軽くカードを押しこむとロックが外れてカードが取り出せるようになります。

外部出力について

外部出力の方法について説明しています。

外部出力の手順

1. モニタの設定を開きます。



1 デスクトップの何も無い所をプレスアンドホールドし、四角いガイドが表示されたら指を離します。

2 メニューより「画面の解像度」をタップします。

2. 「ディスプレイデバイス」の設定をします。



1 接続したディスプレイを認識表示します。

2 使用するディスプレイを選択します。

3 「適用」をタップします。

注意

あらかじめ外部モニタを接続しておく必要があります。外部接続時の最大表示解像度はFHD（1920 x 1080）までとなります。

3. 解像度の設定をします。



タップして解像度を変更します。

4. ディスプレイ表示設定します。



表示方法を変更します。

5. 設定変更を保存します。



「適用」をタップします。

CHAPTER 4

BIOS 設定

1 ● BIOS 設定について	31
-----------------------	----

BIOS 設定について

本項目をご確認の上、必要な場合のみご使用環境に適した設定を行ってください。
BIOS 設定を間違えると本製品が起動しなくなる可能性があります。

BIOS 設定画面の起動

1. 「UEFI ファームウェアの設定」⇒再起動

チャームバー⇒設定⇒PC 設定の変更⇒保守と管理⇒回復⇒PC の起動をカスタマイズする⇒今すぐ再起動⇒トラブルシューティング⇒詳細オプション⇒「UEFI ファームウェアの設定」⇒再起動にて起動します。



注意

BIOS 設定を行う場合、別途 USB キーボードを接続する必要があります。Bluetooth 接続のキーボード・マウスは使用できません。

BIOS 実行キー

機能キー	指令	説明
ESC	終了	サブメニューを終了して、前のメニューに戻ります。または Exit 画面に移動する際にも使用します。
Enter	サブ画面へ移動	サブメニューを表示します。
F1	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
F4	保存して終了	変更を保存して、パソコンを再起動します。
←→	領域の選択	前または次のメニューを選択します。
↑	項目の選択	次の上の項目を選択します。
↓	項目の選択	次の下の項目を選択します。
—	より低い値	領域に次の値を選択します。
+	より高い値	領域に次の値を選択します。

BIOS 設定の変更

BIOS 設定画面は、いくつかの項目に分かれています。各項目のメニューについて説明します。
※ 構成により、表示される内容が一部異なる場合がございます。

■ Main

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.		
Main	Advanced	Chipset Security Boot Save & Exit
TXE Information		Choose the system default language
Sec RC Version	00.05.00.00	
TXE FW Version	01.00.02.1060	
System Language	[English]	⇐ : select Screen ⇕ : select Item Enter : Select +/- : Change Opt. F1: General Help F2: Previous Value F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit
System Date	[Wed 01/01/2014]	
System Time	[12:00:00]	
Version 2.16.1242. Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.		

System Date:

MM/DD/YY(月 / 日 / 年) の形式で現在の日付を入力します。

System Time:

HH:MM:SS(時 : 分 : 秒) の形式で現在の時刻を入力します。

■ Advanced

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.	
Main	Advanced
▶ Platform Configuration ▶ CPU Configuration ▶ PPM Configuration ▶ Thermal Configuration ▶ Miscellaneous Configuration ▶ LPSS & SCC Configuration ▶ System Component ▶ PCI Subsystem Settings	Switch Implement Interface ⇐ : select Screen ⇕ : select Item Enter : Select +/- : Change Opt. F1: General Help F2: Previous Value F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit
Version 2.16.1242. Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.	

基本動作の設定を行います。通常は設定の必要がありません。

■ Security

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.	
Main Advanced Chipset Security Boot Save & Exit	
Minimum Length	3
Maximum Length	20
Administrator Password	
User Password	
▶ Secure Boot Menu	
▶ Secure Flash update	
Set Administrator Password ◆◆ : select Screen ↑↓ : select Item Enter : Select +/- : Change Opt. F1: General Help F2: Previous Value F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit	
Version 2.16.1242. Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.	

Administrator Password:

BIOS 設定を行うためのパスワードを設定することができます。

User Password:

起動時のパスワードを設定することが可能です。

※パスワード保護の利用

アドミニストレーターパスワードとユーザーパスワードの 2 つのレベルで利用可能です。

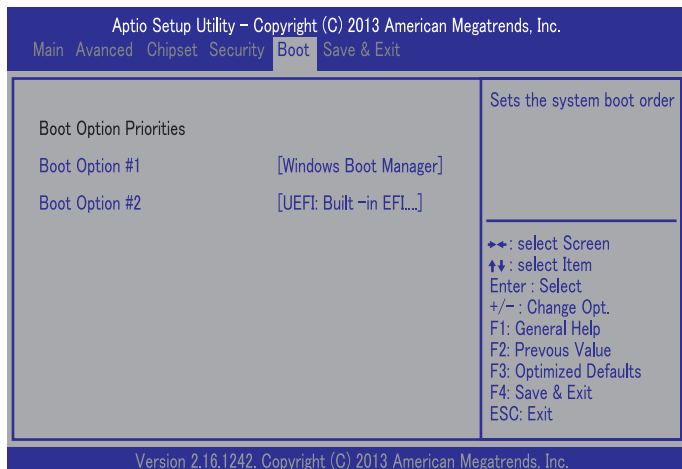
1. ユーザーパスワード (User Password)
電源を入れると、毎回パスワードを要求します。
2. アドミニストレーターパスワード (Administrator Password)
BIOS 設定画面に入る時のみ、パスワードを要求します。

設定したパスワードは NVRAM に保存されます。

※注意※

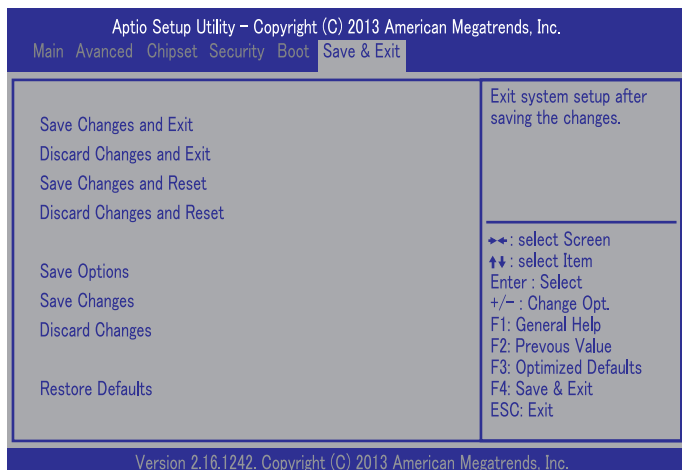
パスワードをお忘れになりますと、以後、BIOS 設定や起動が不可能になります。
その場合、弊社工場での初期設定（有償対応）が必要となります。必要時以外は設定を行わないことをお勧めいたします。

Boot



起動ドライブの順番を変更することが可能です。

Exit

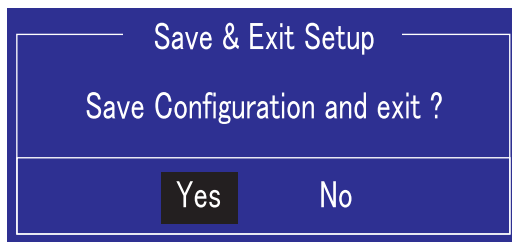


Discard Changes and Exit :

BIOS 設定の変更を保存しません。

Restore Defaults:

BIOS 設定をデフォルト値に戻します。すべての BIOS 設定画面上で、【F3】キーを押しても同様の操作が可能です。



Save Configuration and exit ? :

BIOS 画面で設定した内容を保存します。保存の完了後に自動での再起動になります。変更内容は次回起動時に適用されます。

CHAPTER 5

ご使用に関して

1 ● バッテリーの使用方法	37
2 ● クリーニング	38
3 ● トラブルシューティング	40
4 ● システムの復元を利用する	42
5 ● PC をリフレッシュする	46
6 ● すべての削除して Windows を	50
再インストールする	

バッテリーの使用方法

バッテリーの使用方法について説明しています。

概要

■ バッテリーの充電と充電時間

バッテリーが本製品に搭載されている間に AC アダプタを接続して、ご使用の環境にある電源コンセントから電源を供給することでバッテリー充電を行うことが可能です。充電時間は本製品使用時にはおよそ 6 ～ 10 時間程度、電源オフの際にはおよそ 3 時間程度でフル充電となります。

■ バッテリー残量の確認

Windows のタスクトレイにあるバッテリーインジケータでバッテリー残量を確認することが可能です。非表示になっている場合は Windows のタスクバーと [スタート] メニューのプロパティから「電源」の表示方法を変更してください。

■ バッテリー寿命について

以下の点に留意していただくことで、効率的なバッテリー活用が可能となります。

- ・できる限り AC アダプタを使用して外部から電源を供給する。
- ・常温で使用する。高温多湿な環境もしくは非常に低い温度環境での使用はバッテリーのみならず本製品そのものにも悪影響を及ぼします。
- ・バッテリーは繰り返し充電が可能ですが、ご使用の環境やご使用方法によってその回数は異なります。

※注意※

バッテリーの性能を保つため、定期的（およそ 3 ヶ月ごとに 1 度）にバッテリーの放電とフル充電を行ってください。

【作業方法】

本製品の BIOS 設定画面を表示させ、そのままの状態ではバッテリーを完全消費させます。その後 AC アダプタを接続しフル充電を行います。

2

クリーニング

本製品本体のお手入れの仕方を説明しています。

準備するもの

- 軽い汚れのとき
 - ・ 乾いたきれいな布
- 汚れがひどいとき
 - ・ 水かぬるま湯を含ませて固く絞った布

ワンポイント

OA 用クリーニングキットや薄めた中性洗剤などがあると便利です。

※注意※

シンナーやベンジンなど揮発性の有機溶剤は使用しないでください。また、これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使用しないでください。製品を傷め故障の原因になります。

注意

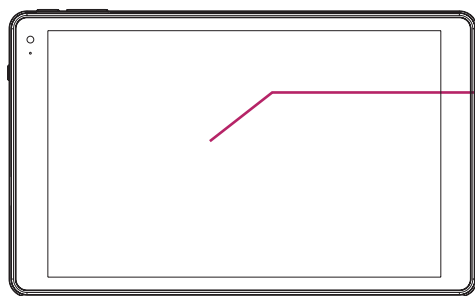
水やぬるま湯などの液体を本製品本体や周辺機器に直接かけないでください。故障の原因になります。

本製品の掃除

1. 外側の汚れをふき取ります。

やわらかい素材の乾いた布で拭いてください。また、汚れがひどい場合は水かぬるま湯を含ませ固く絞ってから拭いてください。

薄めた中性洗剤を使用して拭いた場合は、水かぬるま湯を含ませ固く絞った布で二度拭きしてください。



タッチパネルは乾いた布でなでるように拭いてください。

注意

必ず本製品の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてから行ってください。感電の恐れがあります。

注意

固いものでこすったり、強く押さえつけたりすると、故障や破損の原因になります。

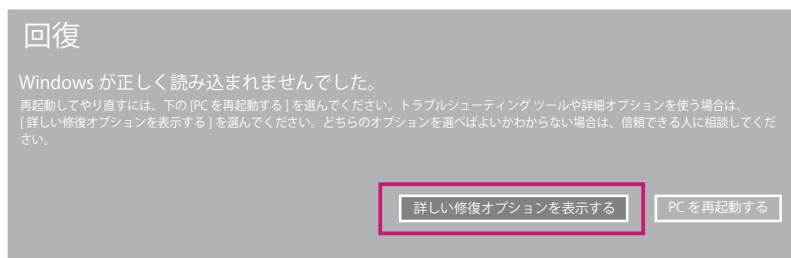
トラブルシューティング

障害の対処方法について説明しています。

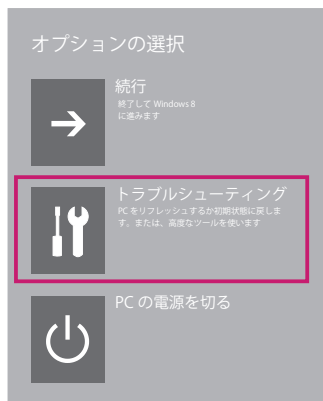
回復ツールを使ったトラブルシューティング

Windows が正しく読み込まれなかった場合、回復画面が表示され、回復ツールを使っての修復作業を行うことができます。「詳しい修復オプションを表示する」を選択し、修復作業を行ってください。

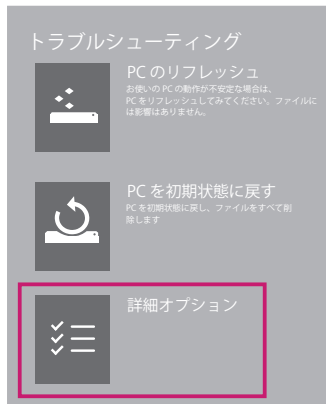
1. 「詳しい修復オプションを表示する」をクリックします。



2. 「トラブルシューティング」をクリックします。



3. 「詳細オプション」をクリックします。



ワンポイント

「PCのリフレッシュ」については、46ページをご確認ください。

ワンポイント

「PCを初期状態に戻す」については、50ページをご確認ください。

4. 詳細オプション画面から回復ツールをクリックします。



●システムの復元

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

●イメージでシステムを回復

特定のシステムイメージファイルを使って Windows を回復します。

●自動修復

Windows の読み込みを妨げている問題を修正します。

●コマンドプロンプト

高度なトラブルシューティングのためにコマンドプロンプトを使います。

●スタートアップ設定

Windows のスタートアップ動作を変更します。

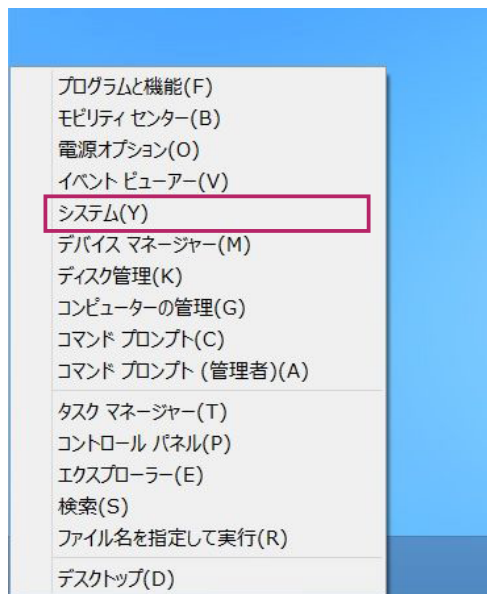
4

システムの復元を利用する

システムの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合、システムの復元を行うことで、設定変更前の時点に戻し、正常に動作していた状態に回復できる可能性があります。

システムの復元を実行する

- 1.「Windows キー () + 「X キー」を同時に押します。画面左下に表示されたメニューから「システム」をクリックします。



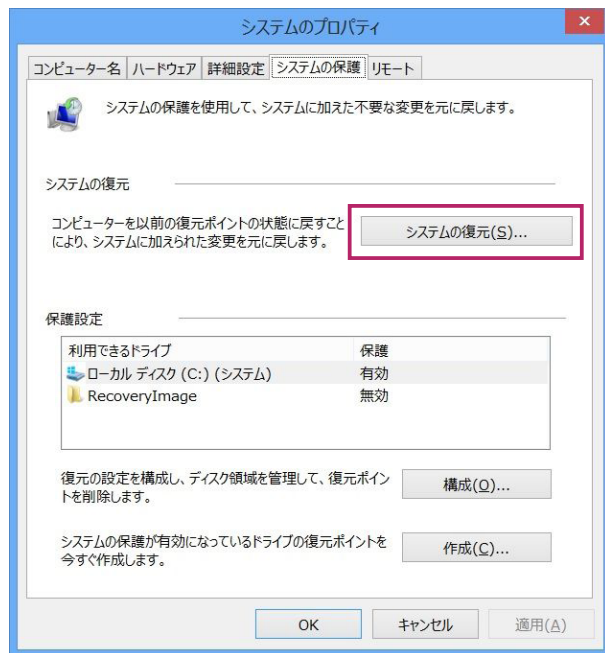
ワンポイント

システムの復元に使われる復元ポイントは、Windows によって自動的に作成されます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows にとって重要な変更が行われた際に自動的に復元ポイントが作成されます。

- 2.「システムの保護」をクリックします。



3.「システムの復元」をクリックします。



ワンポイント

手動で復元ポイントを作成する場合は、「作成」をクリックします。

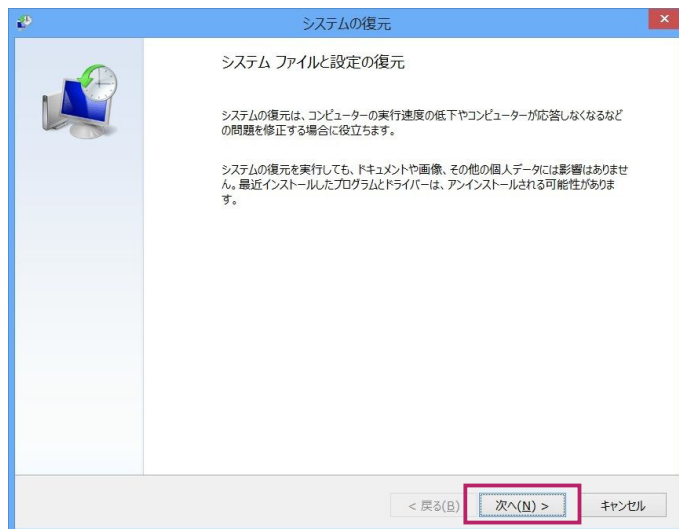
システムの保護が有効になっているドライブの復元ポイントを今すぐ作成します。

↓

復元ポイントの識別に役立つ説明を入力し、「作成」をクリックします。

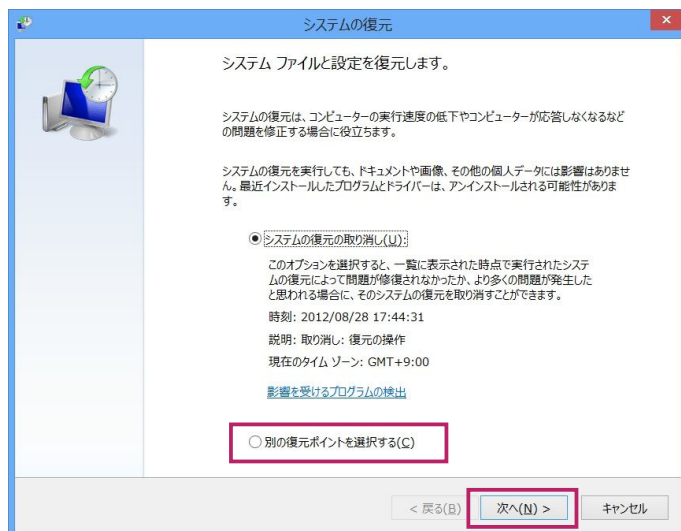


4.「次へ」をクリックします。（過去に復元を実施した場合は手順5の画面）

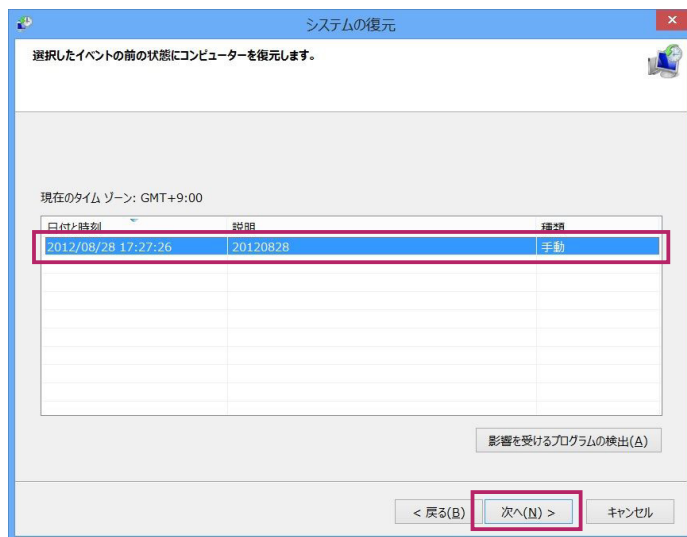


5. 「別の復元ポイントを選択する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

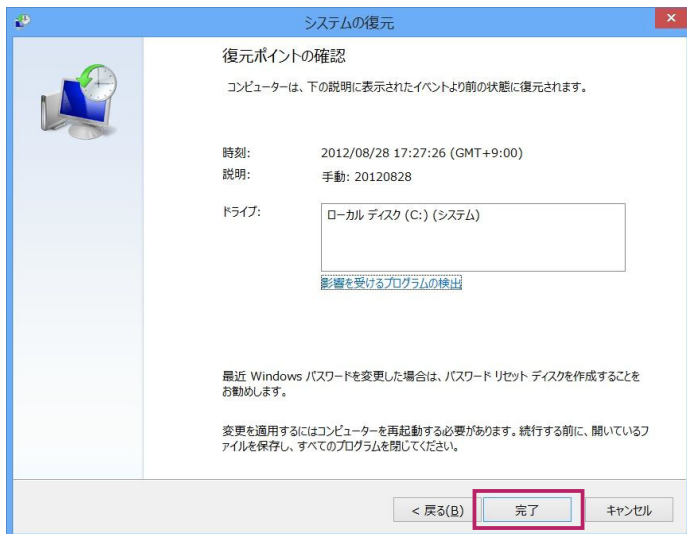
※ 実施したシステムの復元を取り消す場合は、「システムの復元の取り消し」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



6. 復元ポイントを選択し、「次へ」をクリックします。



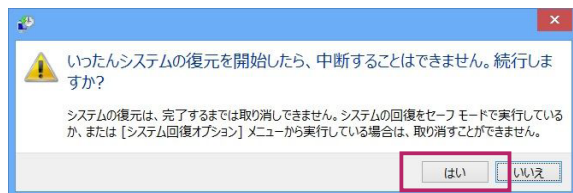
7. 復元ポイントを確認し、「完了」をクリックします。



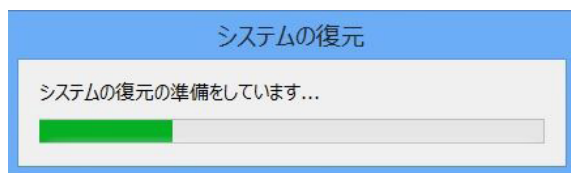
ワンポイント

システムの復元を行うと、アプリケーション、ドライバ、WindowsUpdate、各種設定の状態は、復元ポイント時点まで戻ります。メール、ドキュメントの中にある、各種データが失われることはありません。データファイルは復元されません。

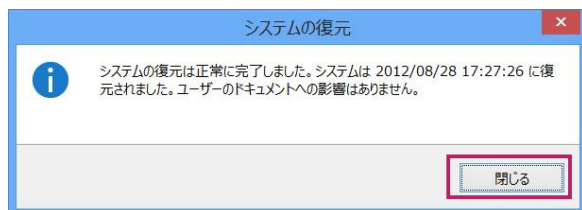
8. 注意事項を確認し、「はい」をクリックします。



9. システムの復元がスタートします。そのまましばらくお待ちください。



10. 再起動後、システムの復元が完了した確認メッセージが表示されます。「閉じる」をクリックします。



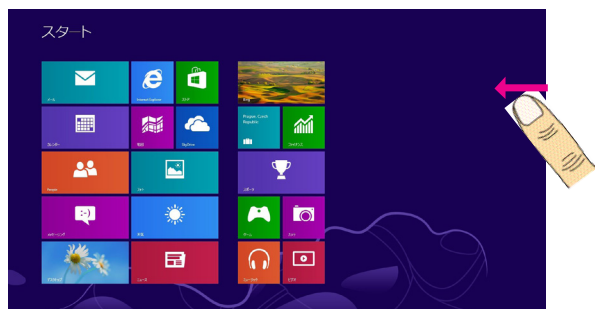
5

PC をリフレッシュする

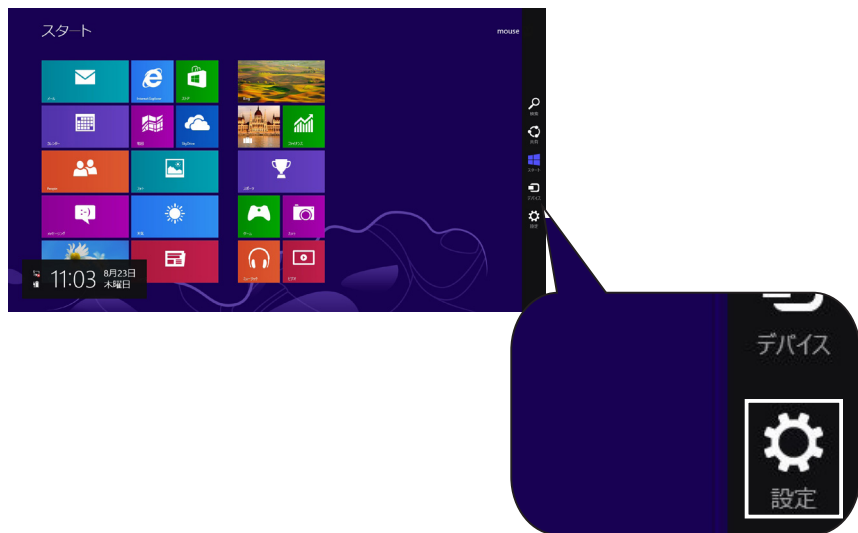
「PC リフレッシュ」を実行する

「PC リフレッシュ」は、ご使用の PC の動作が不安定な場合、Windows をリフレッシュすることで、初回設定後の状態に戻すことができます。マイドキュメントに保存された写真、音楽、ビデオなどの個人的なファイルには影響がありません。その他のフォルダや、インストールされたアプリケーション等は削除されますので、この作業を行う前に必ずバックアップを行ってください。一度実行してしまうと元に戻すことができません。ご注意ください。

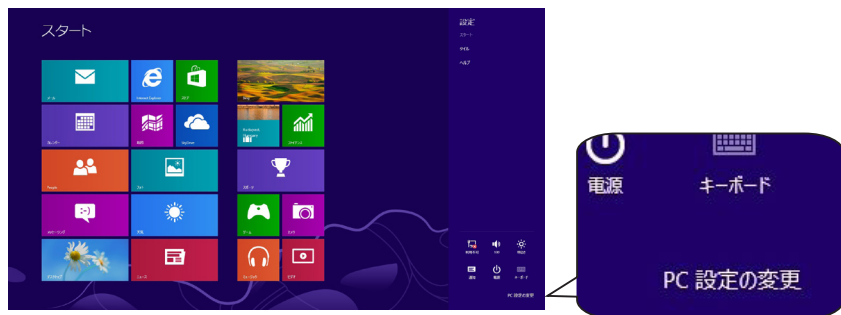
1. 指を右端の枠外から中へスライドすると「チャーム」が表示されます。



2. 画面右にチャームが表示されたら「設定」をクリックします。



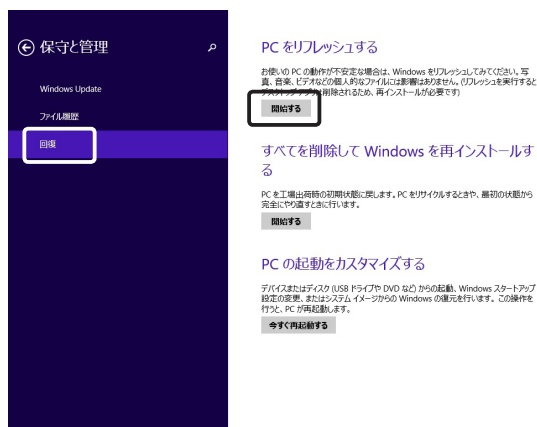
3. 「PC 設定の変更」をクリックします。



4. 「PC 設定」の画面が表示されたら、「保守と管理」をクリックします。



5. 「回復」をクリックします。「PC をリフレッシュする」項目の「開始する」をクリックします。



6.「次へ」をクリックします。



PC のリフレッシュ

この操作を行うと:

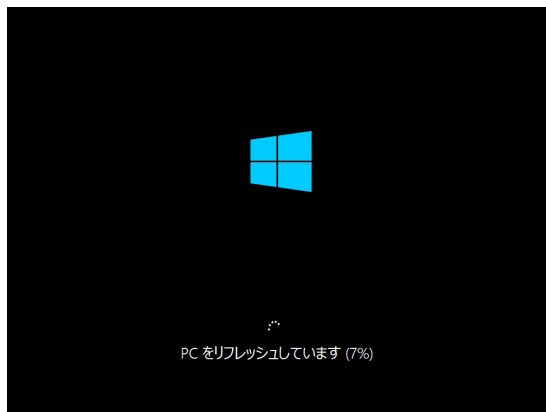
- 個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
- PC の設定は初期状態に戻ります。
- Windows ストアからインストールしたアプリは残ります。
- ディスクまたは Web サイトからインストールしたアプリは削除されます。
- 削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

[次へ](#)[キャンセル](#)**注意**

この操作を行うと

- 個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
- PC の設定は初期状態に戻ります。
- Windows ストアからインストールしたアプリは残ります。
- ディスクまたは WEB サイトからインストールしたアプリは削除されます。
- 削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

7. PCのリフレッシュがスタートし、本体が再起動します。そのまましばらくお待ちください。



8. 約 10~20 分程で、スタート画面が表示されたら、リフレッシュは完了です。



6

すべてを削除して Windows を再インストールする

「すべてを削除して Windows を再インストールする」を実行する

「すべてを削除して Windows を再インストールする」を実行すると、PC を工場出荷時の初期状態に戻します。PC をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやり直すときに行います。



注意

すべてのデータが削除されますので、この作業を行う前に必ずバックアップを行ってください。一度実行してしまうと元には戻せません。ご注意ください。

手順 1～4 までは、「PC をリフレッシュする」の場合と同じになります。46 ページをご確認いただき、引き続き、次の手順 5 の作業を行ってください。



5. 「回復」をクリックします。「すべてを削除して Windows を再インストールする」項目の「開始する」をクリックします。

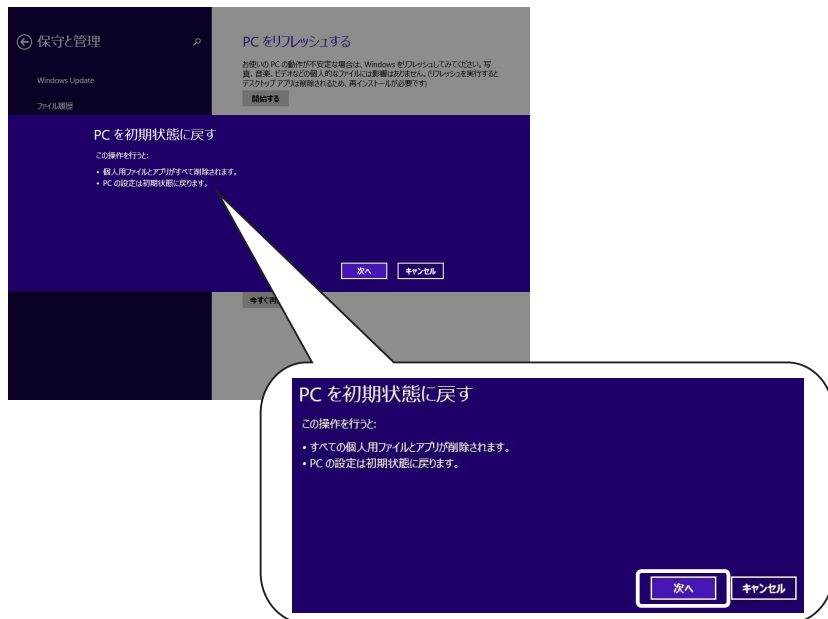


注意

Windows を再インストールする場合、お客様が別途で用意したシステムディスクを使用しているメディアリカバリは、絶対に行わないでください。メディアリカバリを行った場合、ストレージ内のリカバリ情報が削除されてしまいます。その後、「すべてを削除して Windows を再インストールする」ができなくなります。また、作業途中でキャンセルを行った場合でも、リカバリが行えなくなる場合があります。

注意

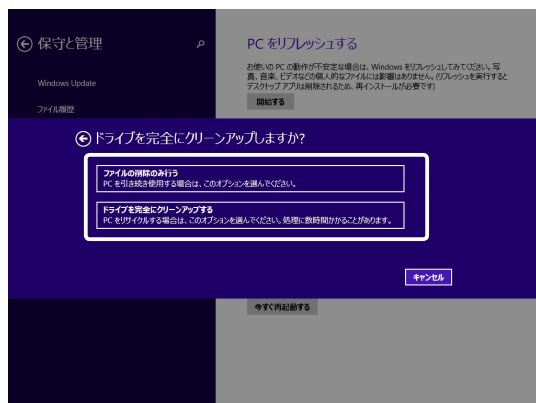
リカバリを行うと、ストレージ内にあるデータはすべて消去され、ご購入当初の状態に戻ります。必要なデータなどがあれば、事前にバックアップを取ってから作業を行ってください。また、「ディスクの管理」でストレージ内に別途パーティションを作成してご使用の場合、リカバリ時にはシステム領域（C ドライブ）だけでなく、他のパーティションも消去されますのでご注意ください。

6. 「PC を初期状態に戻す」が表示されたら、「次へ」をクリックします。**注意**

この操作を行うと

- すべての個人用ファイルとアプリが削除されます。
- PC の設定は初期状態に戻ります。

7. 「ファイルの削除のみ行う」 ※または、「ドライブを完全にクリーンアップする」 ※をクリックします。



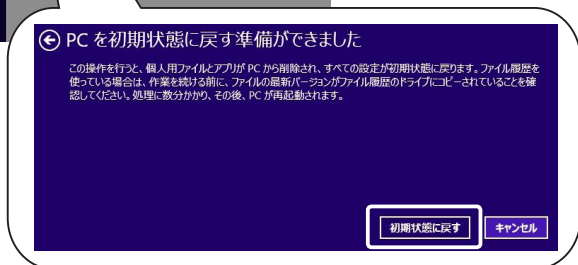
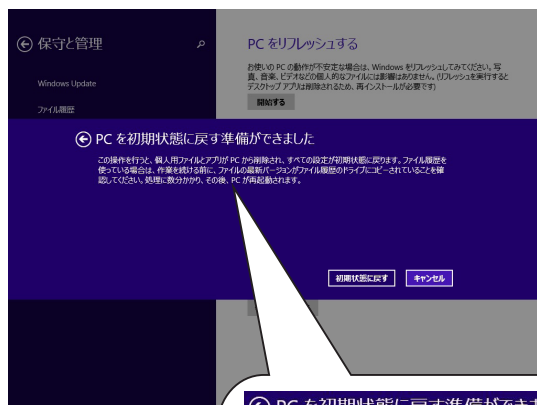
※ ファイルの削除のみ行う

ファイルの削除のみを行うので、Windows の再インストールを短時間で終わることができます。ご使用の環境にもよりますが、15～20分程度で再インストールが完了します。

※ ドライブを完全にクリーンアップする

ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップします。クリーンアップすることで、削除したファイルは簡単に回復できなくなるのでセキュリティは高まりますが、処理にかかる時間は非常に長くなります。3～4時間程度、再インストールに時間がかかります。

8. 「PC を初期状態に戻す準備ができました」が表示されたら、画面上の記載をご確認の上、「初期状態に戻す」をクリックしてください。(AC アダプタの接続を行ってください)



注意

この操作を行うと、個人用ファイルとアプリが PC から削除され、すべての設定が初期状態に戻ります。ファイル履歴を使っている場合は、作業を続ける前に、ファイルの最新バージョンがファイル履歴のドライブにコピーされていることを確認してください。処理に数分かかり、その後、PC が再起動されます。

9. Windows の再インストールがスタートします。そのままお待ちください。再インストールが完了すると、PC が再起動されます。Windows の初回設定がスタートしますので、次ページをご確認ください。

初回設定の手順（Microsoft アカウントをお持ちの場合）

1. 地域と言語の設定画面の表示を確認し、変更が必要な場合は設定の変更を行い、「次へ」をクリックします。

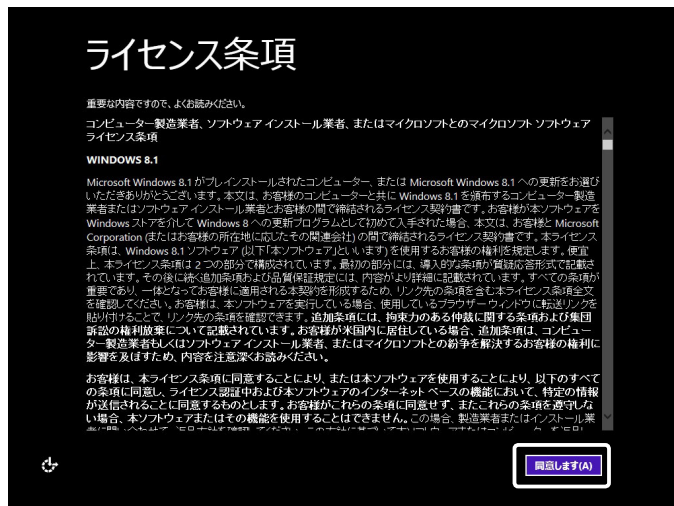


ワンポイント

地域設定・キーボードレイアウトについて。

OS 動作上の言語などを設定します。通常、表示されたままの状態で行進すれば、日本語でご使用いただけます。

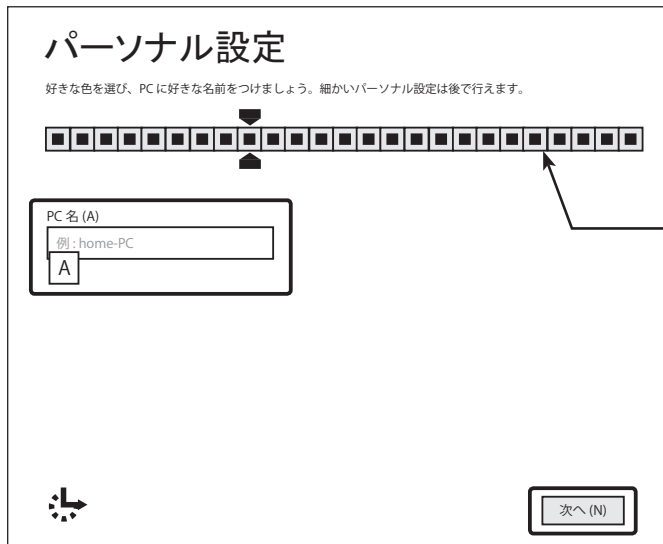
2. マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の内容を確認します。確認ができれば、「同意します」をクリックします。



注意

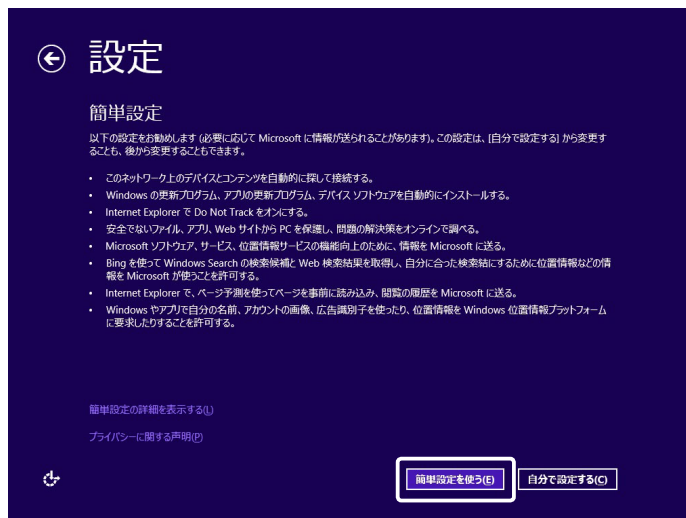
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することができません。表示されている条項文の続きを表示するには、画面をタップしてスクロールさせてください。

3. 好きな画面の色を選択し、PC 名を入力します。PC 名は、半角英数字で任意の文字列を入力してください。入力が完了したら「次へ」をクリックします。



色見本が並んでいます。

4. 「簡単設定を使う」をクリックします。

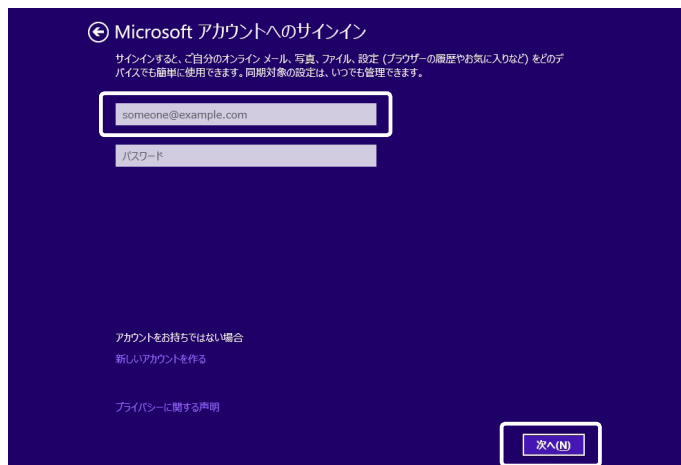


ワンポイント

1 つ前の画面に戻る場合は、画面左上の ⏪ アイコンをクリックします。

5. ネットワークに接続している場合、Microsoft アカウントへのサインイン登録画面が表示されます。アカウント名（メールアドレス）を入力し、「次へ」をクリックします。

※ Microsoft アカウントをお持ちでなく、新しく作成してサインインする場合は、59 ページ「初回設定の手順（Microsoft アカウントをお持ちでない場合）」へお進みください。



6. コードの受け取り方法を選択し、選択した方をクリックします。選択を終えたら、「次へ」をクリックします。

④ 情報の保護にご協力ください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するために、セキュリティ コードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

コードの受け取り方法

hi*****@microsoft.com にメールを送信 ▼

これがご自身のメールアドレスであることを確認するには、以下にアドレスを入力し、[次へ]をクリックしてコードを受け取ってください。

someone@example.com

コードを持っている場合

今は行わない

次へ(N)

7. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。

⑤ 受け取ったコードを入力してください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するために、セキュリティ コードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

別の確認オプションを使う

今は行わない

次へ(N)

8. 「OneDrive はクラウドストレージです」と表示されたら、内容を確認し「次へ」をクリックします。



以上でお持ちの Microsoft アカウントを使った場合の初回設定の操作は終了しました。

初回設定の手順（Microsoft アカウントをお持ちでない場合）

手順 1 ～ 4 は Microsoft アカウントをお持ちの場合と同じになります。引き続き、次の手順 5 の作業を行ってください。



5. ネットワークに接続している場合、Microsoft アカウントへのサインイン登録画面が表示されますので、「新しいアカウントを作る」をクリックします。

Microsoft アカウントへのサインイン

サインインすると、ご自分のオンライン メール、写真、ファイル、設定（プログラマーの履歴やお気に入りなど）をどのデバイスでも簡単に使用できます。同期対象の設定は、いつでも管理できます。

someone@example.com

パスワード

アカウントをお持ちでない場合
新しいアカウントを作る

プライバシーに関する声明

次へ(N)

6. Microsoft アカウント情報を入力します。すべての入力を終わったら、「次へ」をクリックします。

※ Microsoft アカウントを使わずにサインインする場合は、Microsoft アカウント情報の入力を行わずに手順 12 へお進みください。

Microsoft アカウントの作成

新しいメール アドレスを作成します。Outlook.com、Xbox、Skype、Windows Phone、および SkyDrive でそのメール アドレスを使って、すべての情報をこの PC に集約できます。

メール アドレス @ outlook.jp

既に持っているメール アドレスを使う

新しいパスワード

パスワードの再入力

姓（例：田中）

名（例：太郎）

国/地域

Microsoft アカウントを使わずにサインインする

次へ(N)

7. 追加の情報を入力します。すべての入力を終わったら、「次へ」をクリックします。

← セキュリティ情報の追加

この情報は、アカウントをより安全に保ちながら、パスワードを復元できるようにする目的でのみ使用されます。

生年月日	年	月	日	生年月日は、年齢に応じた設定などを提供するために使われます。ご本人の許可なく表示されることはありません。
性別	いずれかを選択して下さい			
国コード	日本 (+81)			
電話番号				
連絡用メールアドレス				

次へ(N)

8. 表示されている文字を入力します。問題なく入力できたら、「次へ」をクリックします。

← コミュニケーション設定

この PC に実際にお客様がサインインしていることを確認させていただきます。

表示されている文字を入力してください
新規 | 音声

☒ Microsoft Advertising によるアカウント情報の利用を許可して、オンライン サービスの質を高める。この設定はいつでも変更できます。[詳細情報](#)

☒ Microsoft のキャンペーンに関するお知らせを受け取る。この設定はいつでも解除できます。

[次へ] をクリックすると、Microsoft サービス規約およびプライバシーと Cookie に関する声明に同意したものと見なされます。

次へ キャンセル

9. コードの受け取り方法を選択し、選択した方をクリックします。選択を終えたら、「次へ」をクリックします。

④ 情報の保護にご協力ください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するために、セキュリティ コードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

コードの受け取り方法

hi*****@microsoft.com にメールを送信 ▼

これがご自身のメールアドレスであることを確認するには、以下にアドレスを入力し、[次へ]をクリックしてコードを受け取ってください。

someone@example.com

コードを持っている場合

今は行わない

次へ(N)

10. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。

④ 受け取ったコードを入力してください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するために、セキュリティ コードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

別の確認オプションを使う

今は行わない

次へ(N)

11. 「OneDrive はクラウドストレージです」と表示されたら、内容を確認し「次へ」をクリックします。



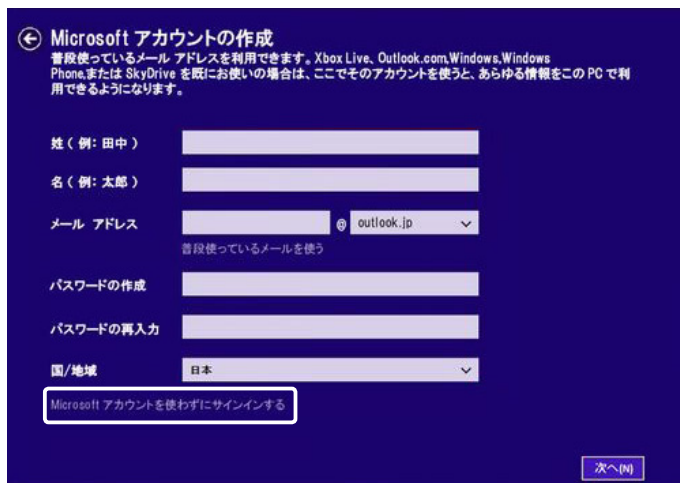
以上でお持ちの Microsoft アカウントを使った場合の初回設定の操作は終了しました。

注意

以上で新しいアカウントを作った場合の初回設定の操作は終了しました。以降の手順は、Microsoft アカウントを使わずにサインインする場合の操作方法となります。

初回設定の手順（Microsoft アカウントを使用しない場合）

12. 手順 6 で表示された画面で、Microsoft アカウント情報の入力を行わずに「Microsoft アカウントを使わずにサインインする」をクリックします。



13. アカウント情報を入力します。すべての入力を終わったら、「完了」をクリックします。

注意

パスワードは8文字以上で設定することを推奨します。パスワードを入力しないで次の画面に進むこともできますが、セキュリティ上、設定することをお勧めいたします。なお、パスワードを忘れてしまった場合、Windowsの再インストールが必要になります。ご注意ください。

●パスワードを忘れてしまった場合のWindows再インストール手順

電源ボタンを長押しして、強制終了を3回行ってください。3回目の起動時に、「回復」画面(40ページ参照)が表示されます。「詳しい修復オプションを表示する」をクリックして、再インストール作業を行ってください。

「詳しい修復オプションを表示する」→「トラブルシューティング」→「PCを初期状態に戻す」→「次へ」→「PCを初期状態に戻すドライブの選択」→「ファイルの削除のみを行う」または「ドライブを完全にクリーンアップする」(50ページ参照)の順にクリックして、Windowsの再インストールを行います。

注意

「強制終了」は、緊急時以外行わないでください。システムが破損する可能性があります。